

令和2年6月15日（月）

令和2年度 1学期 始業式

皆さん、おはようございます。今年度、4月から橘小学校の校長として仲間に入れていただきました、川西邦彦といたします。よろしくお願いします。

今日は、1学期の始業式ということで、全員が一斉に登校することができて本当にうれしく思っています。

そして、もう1つうれしいこととして、今年度も新しいお友達をたくさん迎えることができました。

まず、新1年生が50名入学してきました。入学式は、残念ながらまだですが元気に登校してくれています。入学式は、6月27日（土）の土曜授業の後に行います。

次に、転入生を紹介します。4月から、2年1組に鶴見小学校から、WHさんが転校してきました。もうすでに仲良くなっていることと思いますが、ほかの学年の皆さんもよろしくお願いします。

さて、これまで新型コロナウイルスの感染防止のために、臨時休校の時期が長く続いていましたが、大阪府、市の皆さんが力を合わせて感染防止のための努力をしたおかげで、6月からは、分散ではありますが、毎日登校できるようになりました。

皆さんが安全に安心して学校へ来ることができるように、橘小学校の教職員の皆さんや地域の皆さん、ご家族の皆さんができる限りの努力をしていただいたおかげです。

そして、何にもまして皆さんが検温や手洗い、マスクの着用などをきちんとしてくれた結果だと思っています。

このような新型コロナウイルスによるピンチはなかなかありません。しかし、このピンチのおかげで皆さんが成長できるチャンスがたくさんあったのではないのでしょうか。

5月の学校だよりでもお話しましたが、「ピンチは成長するためのチャンス」でもあります。

これまでは、「コロナで学校にいけない」という状況で大変困りました。例えば、「友達と遊べない」というピンチでしたが、「自分の趣味、ゲームなどに集中できた」人も多かったのではないのでしょうか。「新学年になったのに、新しい学習ができない」というピンチでしたが、これまで苦手な学習がやり直せた人もいたでしょう。また、「外に出かけられない」というピンチでしたが、「家の中の整理、掃除ができた」人も多くいたと聞いています。そして、「新型コロナウイルスなどの病気になってしまう」恐れがありましたが、どうしたら病気にならないか「健康について考える」ことができたと思います。

このように、ピンチだと思われる状況になったときに、いろいろな見方・考え方をしてみると新しいチャンスが見つかる可能性があります。

これまで、学校へ行きたくない、つまらないと思っていた人も、学校に行きたい、学校って大切だなと気づいたのではないのでしょうか。

これからは、「新しい生活様式」として「身体的距離（ソーシャルディスタンス）の確保、マスクの着用、手洗い」を今後も続けてもらいながら、『たちばな』の合言葉も意識して、学校生活を過ごしてほしいと思います。

たちばなの「た」として、いつも楽しみながら学習に取り組もう

たちばなの「ち」として、新しいことに挑戦（チャレンジ）しよう

たちばなの「ば」として、いろいろな場（場面）に応じて考えて工夫しよう。

たちばなの「な」として、仲間を大切に力を合わせよう

例えば、「た」の「いつも楽しみながら学習に取り組もう」に関わってクイズを出してみたいと思います。

これは、何の花か分かりますか？

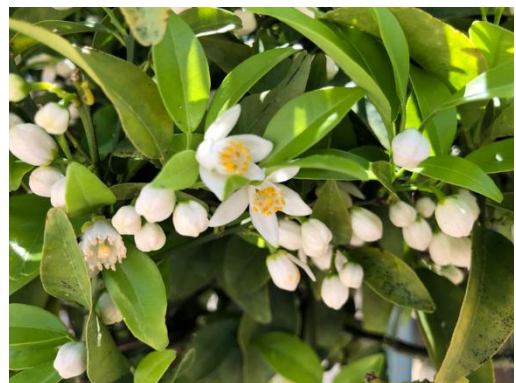
ヒント：校章にもなっています。

正解は、「タチバナ」の花ですね。

実は、もう花は無くなっています。

今どんなふうになっているかまた

観察してみてください。



そんな「タチバナ」ですが、橘小学校には「タチバナ」の木が何本ありますか？どこにあるか知っている人？一年生には、入学オリエンテーションの時に同じクイズを出していましたね。もう調べたかな？

自分の思う本数に手を挙げてください。

① 1本

② 2本

③ 3本

2年生以上の人も、知っている人がたくさんいるかも知れませんね。正解は、また自分で調べて教えてください。6月最後に答え合わせをします。

これから校長先生も皆さんが考えたくなる、調べたくなるようなクイズをたくさん出せるように勉強をがんばります。皆さんが学習するときにも「難しい！」「分からない！」というピンチが、たくさんくるかもしれませんが、自分でいろいろと考えたり、友達といっしょに調べたりして「なるほど！」「分かった！」と学習することが好きになるチャンスに変えてください。

一年間、みんなで楽しみながら学習していきましょう。

これで校長先生の話が終わります。